

時間	区分	高校まで	大学・一般	計
4		1 1 回	1 1 回	2 2 回
5		6	1 0	1 6
6		1 1	7 (1)	1 7 (1)
7		7	1 0	1 7
8		2	1 4	1 6
9		8 (1)	9 (1)	1 7 (2)
1 0		2	1 0 (6)	1 2 (6)
1 1		2	1	3
		6 8 (1)	2 2 9 (8)	2 9 7 (9)

3 競 技 場

(1) 貸 切 使 用 () は使用料減免

時間	区分	高校まで	大学・一般	計
1		7 0 回	4 6 回	1 1 6
2		1 1 5	4	1 1 9
3		1 2	4	1 6
4		5	7	1 2
5		7	3	1 0
6		5	2	7
7		0	2 (1)	2 (1)
8		2	5	7
9		0	3 (2)	3 (2)
計		2 3 4	7 6 (3)	3 1 0 (3)

(2) 個人使用 (1 人 1 時間を 1 回とする。)

高校生まで 117回

大学・一般 2,623回

第 3 節 主 催 行 事

1 バレーボール練習会 (新ルールによる 6 人制技術の向上と審判講習会)

主催 県営体育館

県北高等学校体育連盟

県北バレーボール協会

日時 昭和40年 5 月 15 日(土)・16 日(日)

午前 9 時～午後 5 時

場所 県営体育館

講師 県バレーボール協会理事長 熊坂 寛

県バレーボール協会ヘッドコーチ 箱崎和雄

県バレーボール協会審判委員長 戸田敏夫

県バレーボール協会審判員 喜古光雄

県バレーボール協会審判員 荒 仁

対象 県北高校バレーボール 1 部リーグ所属チーム

県北地区バレーボール審判員

昭和40年度から 6 人制バレーボール競技規則が改正されたので、指導者、競技者、審判員への徹底を図り、あわせてこれを戦法の中にとり入れて、チームの向上を目指すことを目的とし、1 部リーグ所属のリーグ戦によるゲームを通して展開した。男子 6 チーム、女子 5 チームが参加し、登録審判員全員が出席して、反省、討論をくり返しながらか実施して大きな成果を取めた。

2 市内中学校バスケットボール教室

主催 県営体育館

福島市教育委員会

福島市中学校体育連盟

県北バスケットボール協会

日時 昭和41年 2 月 27 日(日)

” 3 月 6 日(日)、3 月 13 日(日)

午前 9 時～午後 3 時半

場所 県営体育館

講師 県北バスケットボール協会 齋 藤 芳 正

石 田 英 威

根 本 英 徳

高 橋 等 博

大 田 中 陸

安孫子 清 七

須 藤 東 一

羽 田 義 光

土 田 誠 一

鈴 木 輝 一

丹 野 正 治

対象 市内中学校バスケットボール部員

一校男女各 10 名以内

バスケットボールの基礎的技術を習得するとともに、正しいバスケットボールの競技の練習方法と態度を身につけ、あわせて技術の向上を図ることを目的とし、140 名の参加者によって実施した。内容はつぎのとおりである。

第 1 日 ・ドリブルショット
・ランニングショット
・ジャンプショット
・オリンピック映画「バスケットボール編」
観賞

第 2 日 ・パス
・2 対 2 攻撃と防ぎよ

第 3 日 ・1 対 1
・ゲームの進め方

3 福島市少年会卓球教室

主催 県営体育館

福島市児童館

日時 昭和41年 3 月 20 日(日)

午前 8 時半～午後 4 時

場所 県営体育館

講師 福島市教育委員会事務局保健体育課 三河 正

県営体育館 荒井信夫

補助員 福島成蹊女子高、緑が丘高卓球部員

対象 市少年会員

日程 午前 9 時～11 時 基礎練習

午前 11 時～午後 3 時半 試合

ブロック 小学校高学年男子 同女子

” 低学年男子 同女子

中学校 1 年男子 同女子

” 2 年男子 同女子 計 72 チーム

各ブロックごとに補助員がついて基礎練習後、ブロックを 3 グループに分けて予選リーグ、決勝トーナメントを行なった。ゲームを進行しながら、指導を行なったのでじゅうぶんではなかったが、多人数の参加なのでやむを得なかった。